



情報(第57号)



令和元年6月20日

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階
銀座社会保険労務士法人 代表社員 吉国 智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail: ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://ginza-syaroushi.com/>

梅雨葵 (つゆあおい) 立葵 (たちあおい) 高さが2メートルほどにもなる

老後資金 2,000 万円不足



1 金融庁報告書の衝撃

金融庁が公表した、金融審議会市場ワーキング・グループ報告書「高齢社会における資産形成・管理」（令和元年6月3日）において、「高齢夫婦無職世帯の平均的な姿で見ると、毎月の赤字額は約5万円、これが毎月発生する場合には、約20年で1,300万円、30年で約2,000万円の取崩しが必要になる」と記述しています。これから「老後資金2,000万円不足」が独り歩きし、国会でも世間でも大騒ぎになっているのです。いや、わざとしているような節があります。

2 国会やマスコミの論調

金融庁報告書をめぐって次のような反応があります。

《国会編》

立憲民主党蓮舫議員 (令 1. 6. 11 中国新聞)	政府が掲げた 100 年安心に疑義が生じた。国民はうそだったと怒っている。
共産党小池晃議員 (令 1. 6. 11 中国新聞)	年金を当てにするな、自己責任で貯金せよというのは国家的詐欺に等しいやり方だ。
立憲民主党辻元清美議員 (令 1. 6. 12 中国新聞)	(100 年安心の年金制度との説明に対して) 安心安心詐欺だ。

《マスコミ編》

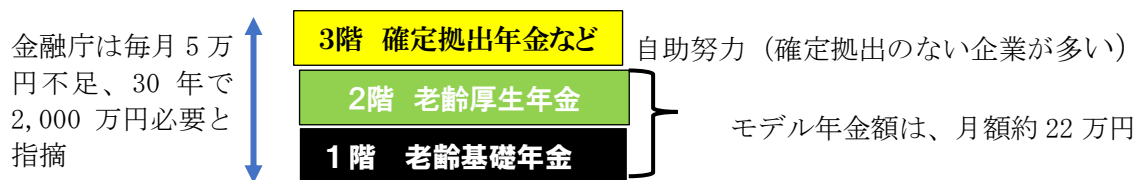
テレビ朝日系「グッド！モーニング」坪井直樹アナ (令 1. 6. 5 放送)	私の息子が先日、20 歳になって、年金の保険料を納め始めました。私も 20 歳から 30 年近く払い続けています。だから金融庁や（麻生）大臣の話は、その年金制度を頼れない、頼るなどと言っているようなもので、朝から怒りたくないですけど、本当にガッカリ！
報道番組『報道特集』（TBS 系）金平茂紀キャスター (令 1. 6. 8 放送)	老後の暮らしのためには年金以外に 2 千万円の貯えが必要だとした金融庁の報告書が波紋を広げています。 政府は慌てて釈明をしています、「年金は 1 0 0 年安心」とっていたのは、ほかならぬ政府だったのではないのでしょうか。場合によっては謝罪ごときでは済まないと思いますが、みなさんはどうお考えでしょうか？

3 混乱している議論

上記の議論は、次図をごちゃ混ぜにした認識です。平成 16 年の年金制度改革において「マクロ経済スライド」※という財政安定化を導入した際、何が 100 年安心なものかと、議論になり、更には、平成 19 年頃に年金記録問題が発生し、「消えた年金」などと、制度の信頼が揺らぐ事態に発展。年金が完全に政局化し、制

度は既に破綻しているなど、あまりにひどい議論が横行しました。国家的詐欺、安心安心詐欺だとは、国民生活を心配するよりもむしろ喜んでいる態度に見え、私見では、こっちの方が大問題です。

【図 1】



※現役人口の減少や平均余命の伸びに合わせ、公的年金の給付水準を自動的に調整する仕組み。年金額の伸びは、賃金や物価の伸びよりも低くなる。

4 公的年金財政と老後の生活

昔から、厚生労働省は、「公的年金は、老後生活の柱として長期わたる老後生活の基本部分を確実に支える」と、老後生活を公的年金で丸抱えするのではなく、自助努力も必要との立場です。

その柱の長期財政安定化を講じたわけで、これが間違っているならば、うそ、詐欺との指摘もありますが、金融庁の話は、公的年金の財政ではなく、高齢者世帯の平均的な収支を言っているのです。

年金全体を知らないまま国家的詐欺、安心安心詐欺だと攻撃するだけでは害をまき散らしていることに他なりません。

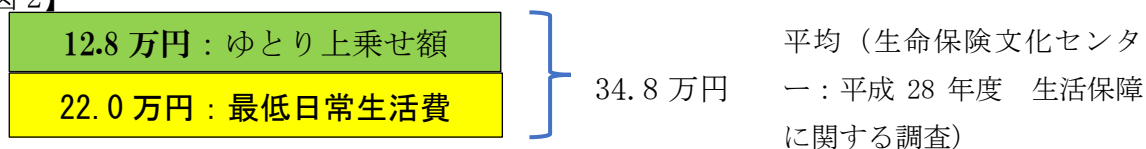
5 高い年金受給

筆者は、従来から、図 2 を引用し、ゆとりある老後のためには、公的年金の上乗せが必要と訴えてきました。

最低日常生活費を公的年金でほぼカバーでき（未納未加入がない前提）、しかし、ゆとりある生活のため、上乗せの年金を若いときから用意すべきです。

そのためには、図 1 のとおり、中小企業でも導入できる企業型確定拠出年金（選択制）（二人から加入できる方を案内中）、第 1 号被保険者では国民年金基金（2 階部分となる）が有効です。

【図 2】



二人以上の加入で導入できる企業型確定拠出年金（選択制）を案内中

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階
銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasayakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://ginza-syaroushi.com/>